1．酪農経営指標

	1		2	3	4	5	6	
【経営類型の特徴】	乳量を維持しつつ、生産性の高い草地への集約放牧により、ゆとりを確保した家族経営	【６次産業化部門】 アイスクリーム等の製造・直販により販売額を増加	搾乳ロボット等により省力化・規模拡大を図るとともに、性判別技術や受精卵移植技術を活用した効率的な乳用後継牛確保と和子牛生産を行い、収益性の向上を図る家族経営	飼料生産・調製や飼養管理の分業化・機械化等による省力化・効率化を通じ、規模拡大を図る大規模法人経営	コントラクターの活用等により省力化しつつ、つなぎ飼いで可能な範囲での規模拡大を図る家族経営	搾乳ロボット等により省力化しつつ規模拡大を図るとともに、飼料用米等を活用した耕畜連携により経営の持続性を確保する家族経営	稲ＷＣＳを活用した耕畜連携により経営の持続性を確保する大規模法人経営	【６次産業化部門】 チーズの製造・直販により販売額を増加
【立地条件】	土地条件の制約が小さい地域（主として北海道）				土地条件の制約が大きい地域（主として都府県）			
【土地条件】	牧草地主体	アイスクリーム 販売量7.0ｔ	畑主体	畑主体	畑又は水田	畑又は水田	畑又は水田	チーズ 販売量6.8ｔ
【経営形態】	家族（１戸１法人も含む）		家族（１戸１法人も含む）	法人	家族（１戸１法人も含む）	家族（１戸１法人も含む）	法人	
【飼養形態】	経産牛66頭		経産牛100頭	経産牛500頭	経産牛80頭	経産牛100頭	経産牛200頭	
飼養方式	つなぎ・パイプライン 搾乳ユニット 自動搬送装置		フリーストール パーラー（アブレスト） 搾乳ロボット	フリーストール パーラー（ロータリー） 哺乳ロボット	つなぎ・パイプライン 搾乳ユニット 自動搬送装置	フリーストール パーラー（アブレスト） 搾乳ロボット	フリーストール パーラー（パラレル） 哺乳ロボット	
外部化	酪農ヘルパー		公共牧場（育成）		公共牧場（育成） 酪農ヘルパー	公共牧場（育成）	公共牧場（育成）	
給与方式	分離給与		ＴＭＲ給与 自動給餌機	ＴＭＲ給与 自動給餌機	分離給与	ＴＭＲ給与 自動給餌機	ＴＭＲ給与 自動給餌機	
放牧利用（放牧地面積）	放牧（34ha）		—	—	—	—	—	
【牛】								
経産牛１頭当たり乳量	8,100kg		8,500kg	9,000kg	8,600kg	9,000kg	9,300kg	
更新産次	4.2		4.0	4.0	3.7	3.7	3.7	
【飼料】								
作付体系及び単収	混播牧草4,000kg／10ａ		混播牧草4,000kg／10ａ 青刈りとうもろこし 6,000kg／10ａ	混播牧草4,000kg／10ａ 青刈りとうもろこし 6,000kg／10ａ	混播牧草4,200kg／10ａ 青刈りとうもろこし 5,700kg／10ａ	イタリアンライグラス 6,300kg／10ａ 青刈りとうもろこし 5,500kg／10ａ	イタリアンライグラス 6,300kg／10ａ 青刈りとうもろこし 5,500kg／10ａ	
作付面積（延べ面積）※放牧利用を含む	55ha（55ha）		55ha（55ha）	218ha（218ha）	８ha（８ha）	８ha（16ha）	18ha（36ha）	
外部化	—		ＴＭＲセンター	—	コントラクター	ＴＭＲセンター	ＴＭＲセンター	
購入国産飼料	—		—	—	稲ＷＣＳ	稲ＷＣＳ・飼料用米	稲ＷＣＳ	
飼料自給率（国産飼料）	70％		70％	70％	50％	60％	50％	
粗飼料給与率	70％		70％	70％	50％	50％	50％	
経営内堆肥利用割合	10割		10割	10割	５割	５割	５割	
【人】								
労働　総労働時間（主たる従事者の労働時間）	4,220時間 (1,900時間×１人)	4,800時間 (1,800時間×１人)	4,560時間 (1,900時間×２人)	27,750時間 (1,900時間×８人)	5,750時間 (1,800時間×２人)	5,400時間 (1,800時間×２人)	12,020時間 (2,000時間×３人)	4,200時間 (1,800時間×１人)
労働　雇用者	常勤雇用１人	常勤雇用１人 臨時雇用１人	臨時雇用１人	常勤雇用７人	常勤雇用１人	常勤雇用　１人	常勤雇用３人 臨時雇用１人	常勤雇用１人 臨時雇用１人